

「佐久市内医療提供体制」
に関するアンケート調査
報告書

平成 2 5 年 1 月

佐久市医療体制等連絡懇話会
佐久市

I 調査の概要

1. 調査の目的

佐久医療センターは、紹介型の病院として「地域医療支援病院」を目指すことが確認されている。一方、佐久医療センターがその機能を十分に果たすためには、「医療機関の役割分担と連携」また、「患者である地域住民の理解と協力」が不可欠である。

こうした中で、関係機関における役割分担と連携については「佐久市医療体制等連絡懇話会」において、協議が定期的に進められているが、佐久医療センターの役割や、同センター整備後の医療供給体制については、住民の理解が十分に得られていないのではないかとの懸念も示された。

そこで、こうしたことを踏まえ、新たに構築される医療体制について、住民の理解度を調査し、もって、安定的な医療供給体制構築に向けた施策等の基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

2. 調査の概要

(1) 調査対象・調査方法

◎下記関係機関において、それぞれの調査対象者数を目標に任意に対象者を選定し実施した。

・佐久総合病院	200 人	外来患者等を対象に実施。
・浅間病院	200 人	〃
・医師会	225 人	佐久医師会の医療機関で外来患者等を対象に実施。
・佐久市	100 人	各年齢層に配慮し市民を対象に実施。
合 計	725 人	

(2) 調査期間 平成 24 年 10 月 20 日から平成 24 年 11 月 9 日正午

(3) 調査内容

- ・医療情勢に関する認識について
- ・かかりつけ医について
- ・佐久総合病院再構築について
- ・医療関係情報の提供について
- ・その他意見等

(4) 回収結果

調査対象数	725 人
有効回収数	713 人 (有効回収率 98.3%)

<注>報告書のパーセントの数字は小数点第2位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

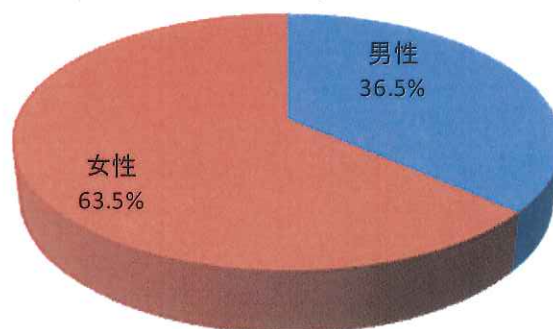
本文中の数字は原則小数点第1位を四捨五入して表記した。

無回答は数に入れないで計算している。

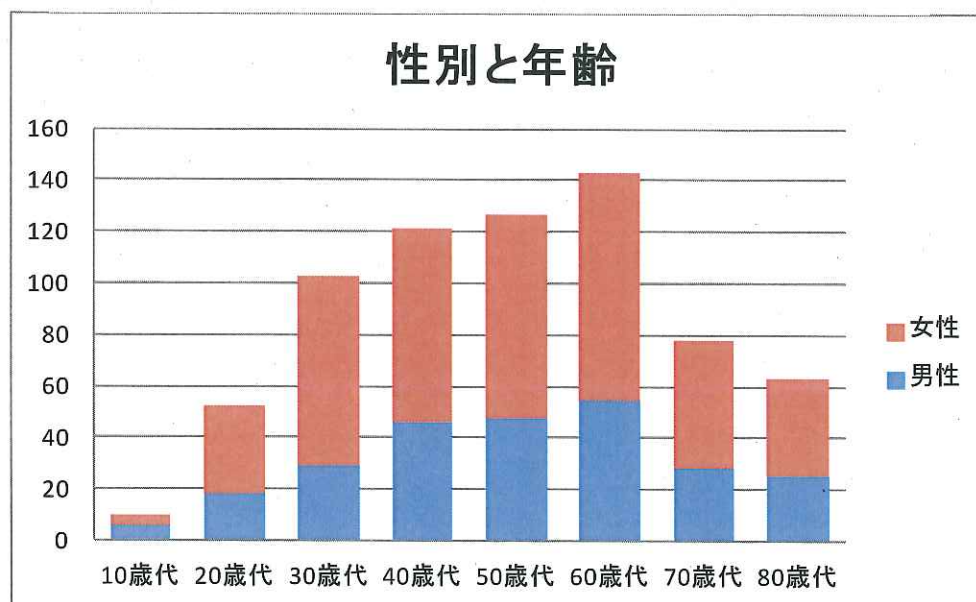
Ⅱ 調査結果

◆ご回答者の状況

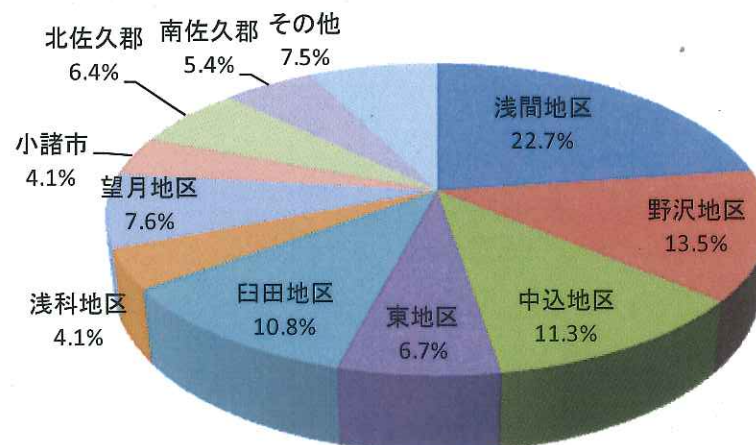
○性別



○性別と年齢



○居住地

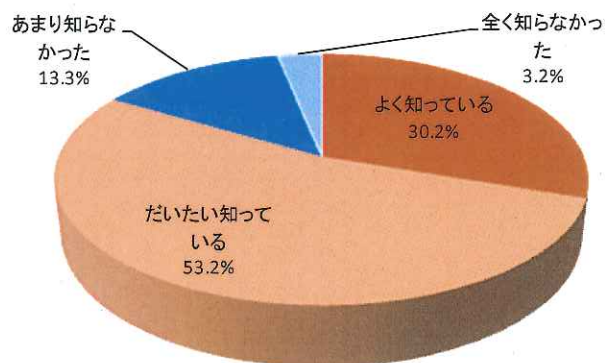


◆医療情勢について

○医師不足等、医療を取り巻く情勢が、とりわけ地方において厳しい状況となっていることをご存知でしたか。

「知っている」が8割を超える。

医師不足等、医療を取り巻く情勢が、とりわけ地方において厳しい状況となっていることについて「よく知っている」が30%、「だいたい知っている」が53%で、合わせると8割を超える結果となった。



○佐久地域の医療情勢の状況を、どのように感じていますか。

「安定している」「やや安定している」7割を占める。

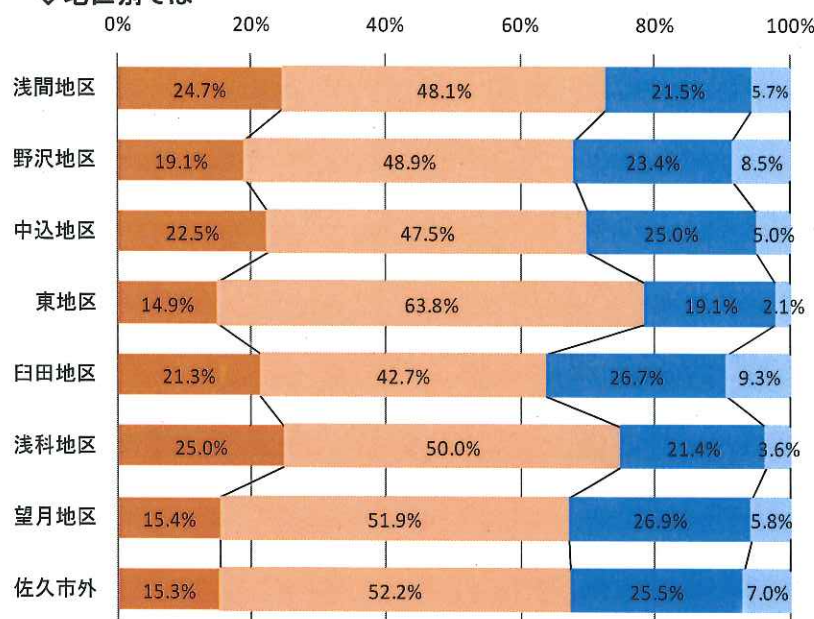
佐久地域の医療情勢の状況が「安定している」と感じている人は、20%であった。「やや安定している」50%と合わせると7割を占めている。

地区別にみると、東地区の「安定している」15%と最も低いが、「やや安定している」64%と合わせると79%と最多。次いで浅科地区、浅間地区が7割を超えている。

臼田地区は、「厳しい状況」と感じている人が、9%と最多。「やや厳しい状況」27%と合わせても36%と最も多かった。



◇地区別では



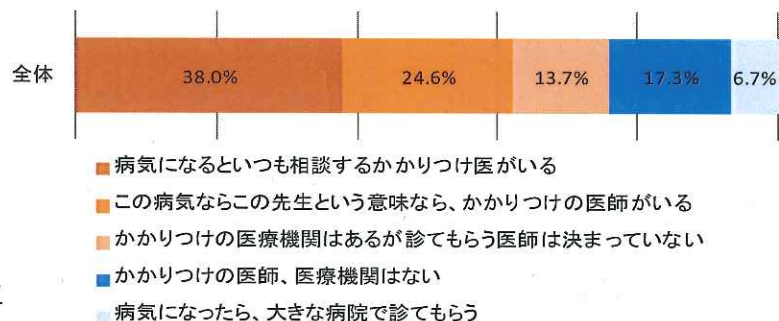
◆かかりつけ医を持つことの重要性について

○あなたは現在、「かかりつけ医」をお持ちですか。

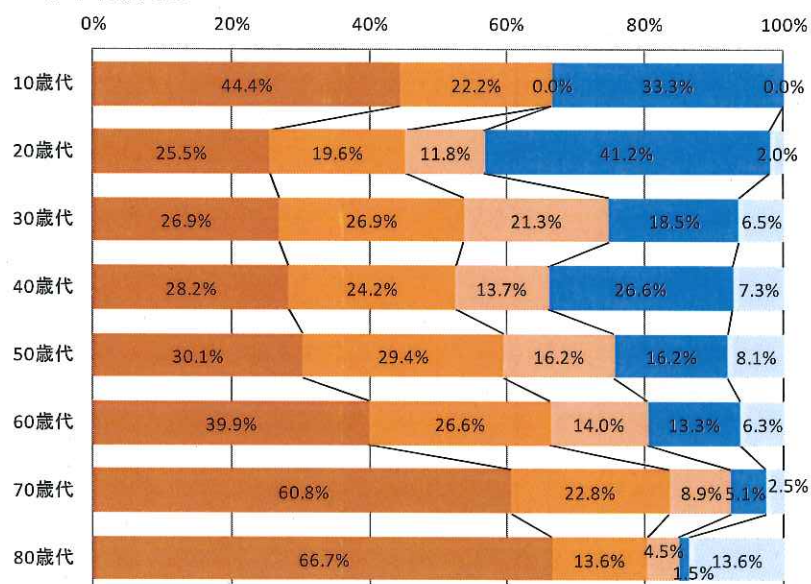
「かかりつけ医を持っている」 38%、「この病気ならこの先生という意味なら
かかりつけの医師がいる」 25%

「いつも相談するかかりつけ医がいる」と回答した人が38%、
「この病気ならこの先生という意味なら、かかりつけの医師がいる」と回答した人が25%で、約6割にとどまった。

年代別では、若年層でかかりつけ医を持たない人が多く、高齢になるにつれ、かかりつけ医を持つ傾向にある。



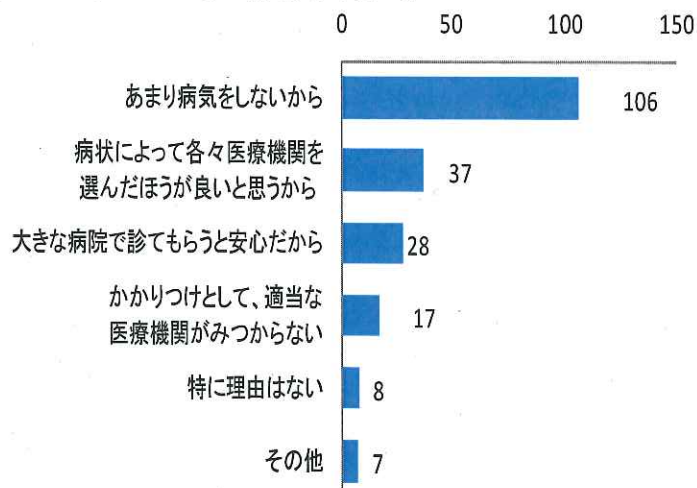
◇年代別では



○かかりつけの医療機関がない理由について教えてください。（複数回答可）

「あまり病気をしないから」が最多。

かかりつけ医がない理由として、最も多かったのが、「あまり病気をしないから」106名であった。次いで「病状によって医療機関を選んだほうが良いと思うから」37名、「大きな病院で診てもらうと安心だから」28名となった。



◆佐久総合病院再構築について

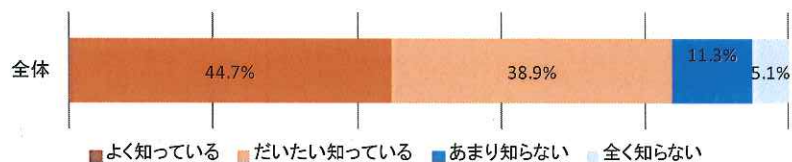
○佐久総合病院が再構築を進めていることをご存知ですか。

「知っている」8割を超える。

佐久総合病院が再構築を進めていることを「よく知っている」が45%で約半数を占めた。

「だいたい知っている」の39%と合わせると8割を超える結果となった。

地区別では、野沢地区、臼田地区、東地区での認知度が9割を超えている。一方、望月、浅科地区での認知度が比較的低かった。

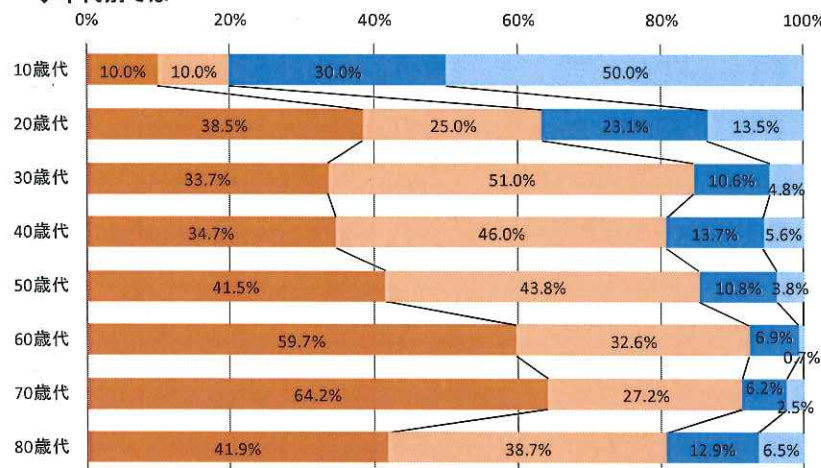


◇地区別では



年代別では、30歳代以上が、8割を超える認知度であったが、20歳代以下においては、他の年代に比べて低かった。

◇年代別では



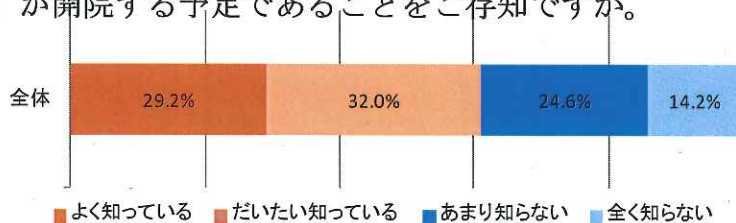
○平成25年度内に、「佐久医療センター」が開院する予定であることをご存知ですか。

知っている 61%

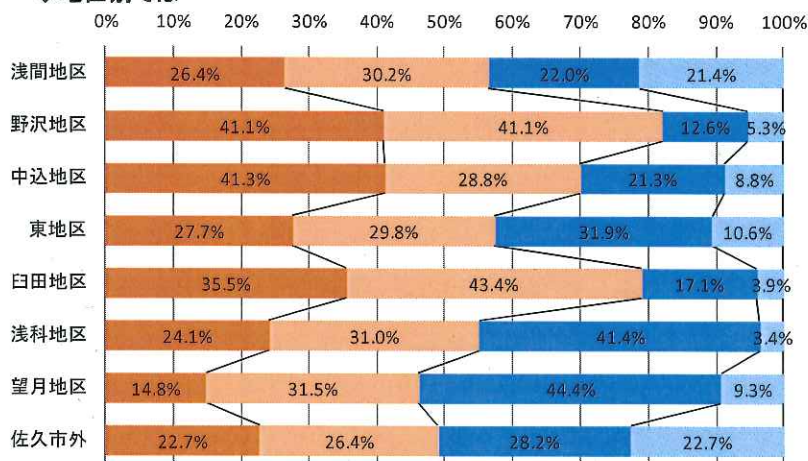
佐久医療センターが平成25年度内に開院する予定であることを「よく知っている」が29%、「だいたい知っている」が32%だった。

市内における地区別では、知っていると回答された方は、野沢地区、臼田地区が約8割で、中込地区では7割、その他の地区では、4～5割台であり、地区によって差がある。

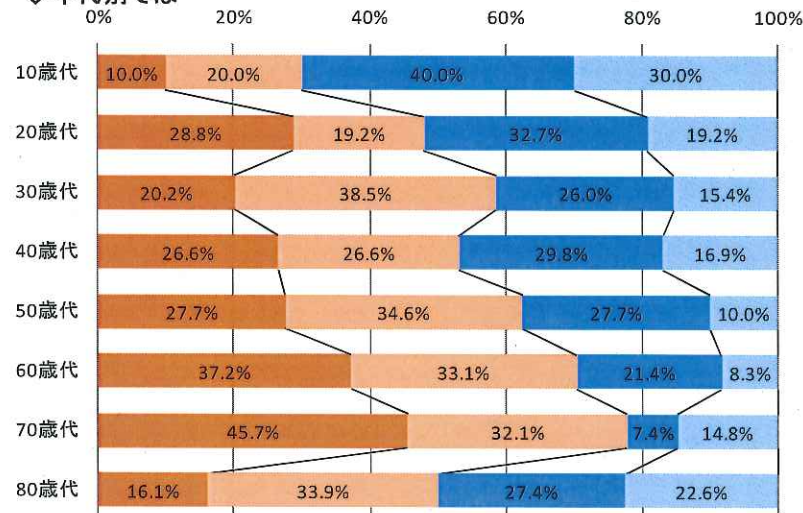
年代別では、20歳代以下で、知っている人は、半数以下であった。



◇地区別では



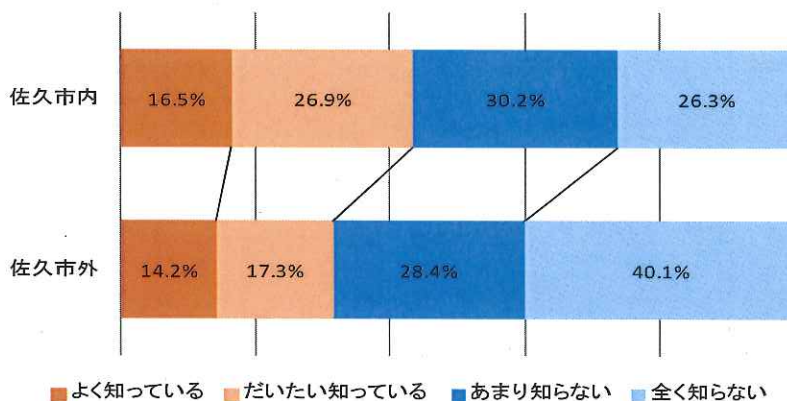
◇年代別では



○佐久医療センターが「紹介型の病院」であることをご存知ですか。

紹介型の病院であることを「知っている」が、佐久市内で43%、佐久市外で32%。

佐久医療センターが「紹介型の病院」であるという認知度は、佐久市内、市外ともに半数以下という結果となった。

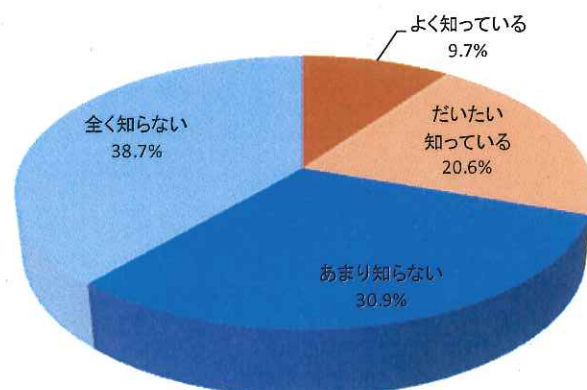


○一般的に「かかりつけ医等の紹介状をお持ちでない患者さん」が「紹介型病院」（佐久医療センター）を受診された場合には、「症状を見極めた上で、他の医療機関を紹介される。」ことになりますが、このことをご存知ですか。

「知らない」が7割を占める。

「全く知らない」と回答した人が39%と最も多い結果となった。

「あまり知らない」と回答した人と合わせると70%という結果となった。

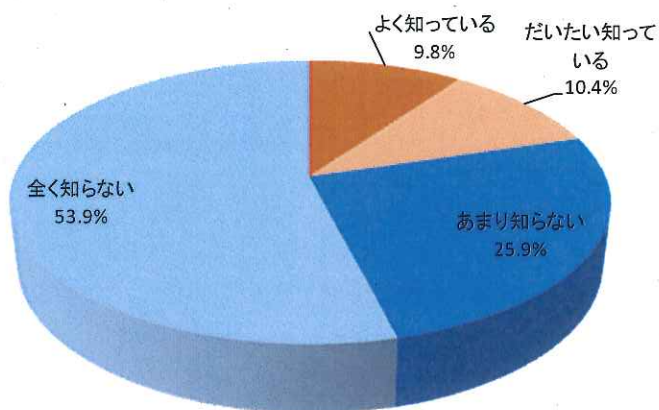


○佐久医療センターで紹介状を持たずに診療を受けた場合には、救急時を除き、別途料金（初診時保険外併用療養費）が加算されることとなりますが、このことをご存知ですか。

全く知らない54%と半数以上を占める。

「全く知らない」が54%と半数以上を占める結果となった。

「あまり知らない」の26%と合わせると8割の方が知らないという結果となった。

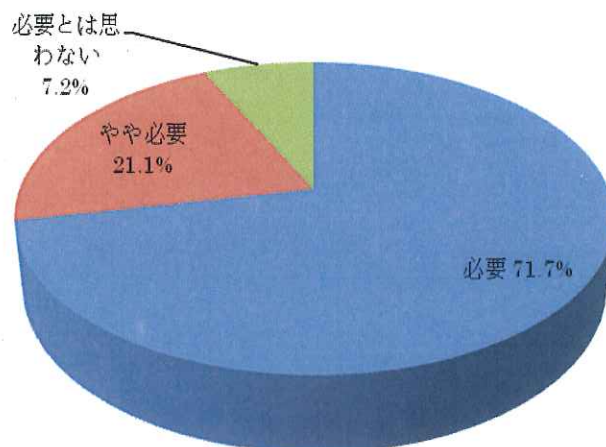


◆情報提供について

○佐久地域の医療状況について、もっと情報が必要だと思いますか。

「必要」9割を超える。

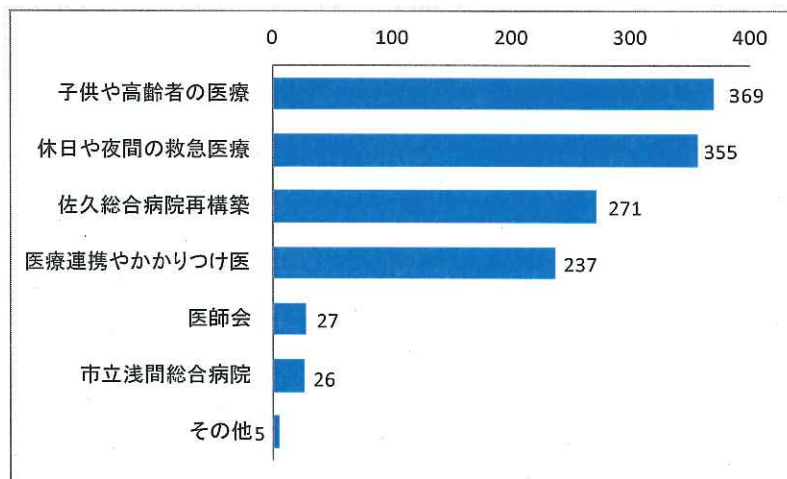
佐久地域の医療状況について情報が「必要」と思う人が7割を超え、「やや必要」と合わせると9割を超えた。



○「必要だと思う。」または「やや必要だと思う。」と答えた方に伺います。主に、どのような情報があればよいですか。（複数回答可）

「子供や高齢者の医療」「休日や夜間の救急医療」の情報が必要。

佐久地域の医療状況で最も必要だと思う情報は、「子供や高齢者の医療」で369名、次いで「休日や夜間の救急医療」355名、「佐久総合病院再構築」271名、「医療連携やかかりつけ医」237名、「医師会」27名、「市立浅間総合病院」26名、「その他」5名であった。



○情報提供の方法として効果的であると思われるものを選択してください。（複数回答可）

市の広報紙等が最多。

情報提供方法として効果的であると思われるものの最も多い意見が、「市の広報紙等」で573名であった。次いで「佐久総合病院の広報紙等」が180名、「説明会の開催等」が138名、「医師会の広報紙等」が42名、「その他」が31名であった。

